

## 静岡県地学会のあゆみ(96)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00024790">https://doi.org/10.14945/00024790</a>

## 静岡県地学会のあゆみ (96)

**中部支部活動：**10月20・21日，長野県大鹿における中央構造線の巡検会を西部支部と協同で実施（案内者：道林克禎会員，参加者16名）。11月4日，中部支部運営委員会を実施（年会の発表の準備等）。11月24日，GEO DATAの調査活動として，牛妻の石灰岩と凝灰岩を調査した（参加者10名）。

**西部支部活動：**10月20・21日，長野県大鹿における中央構造線の巡検会を中部支部と協同で実施（案内者：道林克禎会員，参加者16名）。12月25日，森町・旧豊岡村の炭鉱穴の巡検会を実施（案内者：北村孔志，参加者6名）。

**会誌第96号の発行：**11月18日，「静岡地学」第96号を発行。地学散歩（76），研究・報告4編，活動報告1編，その他静岡大学通信（12），地学会のあゆみ（95）を収録（36p）。

**第44回年会：**11月18日，浜松科学館で開催。伊藤彰彦会員，加茂豊策会員，北村孔志会員井出志津夫会員の研究発表および藤井直之博士（静岡大学理学部・客員教授）の特別講演「今，東海地域が面白い」を実施（参加者35名）。

**第157回運営委員会：**11月18日，浜松科学館で開催。（1）支部活動報告（総会以降）：詳細は各支部活動を参照。（2）第45回総会：期日は2008年6月15日または22日とし，会場は静岡大学または旧中部健康福祉センター庵原分庁舎または清水テルサで行うことにした。記念講演は第一候補としてフタバズキリュウ，第二候補として反射法地震探査とした。（3）GEO DATA進捗状況：東部；調査地域を富士山周辺と伊豆周辺に分け，富士山周辺では溶岩樹型，伊豆周辺では溶岩トンネル，柱状・板状節理を調査中。中部；安倍川以東（牛妻周辺）の十枚山構造線を調査中。今後は付加体を検討中。西部：鉱山・炭鉱跡を調査中。また継続して天体の写真データを収集。（4）その他：会員の若返りのための方法について話し合い，その一環として年会において高校生の口頭・ポスター発表の場を設けることにした。（出席委員：狩野・楠・道林・生形・浜田・松本・久保田・加藤・今村・森田）。

**東部支部活動：**3月22日，北伊豆の巡検会を実施し，下白岩のレピドシクリナなどを見学した（参加者10名）。

**第158回運営委員会：**4月20日，中部健康福祉センター庵原分庁舎で開催。議題に先立ち狩野会長から，今年から5月10日は地質の日に制定されたこと，地学オリンピックの募集をしたところ全国から300を超える学校から参加申込みがあったこと，および南アルプスの世界遺産登録とジオ・パークの活動が平行して進んでおり県地学会にも協力をして欲しいとの連絡があった。（1）各支部の年会以降の支部活動報告がされた（詳細は上述の支部活動を参照）。（2）会計委員から2006年度の決算および2007年度の予算案が報告され，了承された。（3）2006年度の会員動向について報告され，了承された（会員数，211名；入会者，0名；退会者，18名）。（4）第45回総会について協議し，6月22日（日）13時から静岡大学理学部B2021で行うことにした。講師は，佐藤たまき氏（東京学芸大学）とし，フタバズキリュウに関する講演をして頂くことで了承された。演題が正式に決定され次第，ホームページにアップすることにした。また今後の総会等の行事の進め方について協議し，半年先または1年先の行事予定を決めることが望ましいのではないかという意見が出た。また行事の案内を公民館などに置いたり，ホームページに掲載ことが不可欠であるという意見が出た。（5）2008年度の運営委員は，

全員留任となった（二年任期の二年目のため）。（6）各支部の創立40周年記念事業（GEO DATA）の進捗状況について報告があった。東部支部：いくつかに分かれてデータがあるが、全体が未だまとまっていない。中部支部：断層と石灰岩の二本立てで調査を進めている。西部支部：天体に関するデータを継続して収集しており、今後は鉱山跡の標本の入手を検討中である。各支部の進捗状況の報告後、データのまとめ方について協議し、CDにまとめるのが容量的に最も相応しいのではないかとかという意見が出た。8）その他、地学会の行事を活性化するには、NPO自然博ネットと一緒に活動するのが良いのではないかという意見が出た。また普及を目的とした行事を立案・実行する必要性があるのではないかという意見が出て、6月の総会までに各支部で立案することになった。また東部支部より年会の期日は11月16日、23日、24日を候補とし、会場は日大三島高校と交渉を予定しているとの報告があった。また編集委員より静岡地学のグラビアページの写真を募集しているとの報告があり、早川の糸静線の路頭を掲載することになった。（出席委員：狩野・島田・和田・生形・浜田・斉藤俊・松本・久保田・加藤・今村・森田）。